



町内会や商店街などでは、広報誌やホームページを通じて、身近な出来事や地域に密着したさまざまな情報を発信しています。今月は、地域からの情報発信にかかわる方々と、その現場を紹介しましょう。

特集

まちの情報発信中!

●健康づくりを地域から発信

鉄東地区発行「へるすけあ」

地域で進める健康づくり活動を多くの人に知ってもらおうと、鉄東地区で年二回発行している情報誌「へるすけあ」。平成十一年度から昨年度まで厚生労働省のモデル事業の指定を受け、地域の方々が自主的に進めた健康づくり活動を紹介しています。編集担当の山城周二やましろしゅうじさんは「健康づくり事業をきっかけに、さまざまな地域活動に参加する人が増えてきています。今後も多くの情報を発信して活動の輪が広がっていくと嬉しいです」と話します。



鉄東地区新地域健康づくりモデル事業の情報誌「へるすけあ」と「ホームページ」
<http://www.galaxy.city.sapporo.jp/higashi/kennkou/>

町内会を通じて情報誌を回覧しているほか、ホームページも開設し、活動情報を広く発信。これからは、行事の様子をビデオカメラで撮影し、

ホームページ上に動画で配信することも考えているそうです。モデル事業は終了しましたが、鉄東地区では今後も幅広く健康づくり運動を進めていきます。

●まちの出来事を伝える

伏古本町地区発行「葱ぼうず」

伏古本町地区では、連合町内会日より「葱ぼうず」を年三回発行。B4判と大きなサイズで、写真も多く使って地域の情報を広くお知らせしています。



「今後積極的に進める青少年育成や福祉の活動についても、どんどん掲載していきたい」と中上さん

町内での行事のほか、区域内の学校や「ちょっといい店」の紹介など、地域に密着した情報が四ページにわたって盛りだくさん。三十八の単位町内会で配布しています。

編集責任者の中上晶なかがみあきらさんは「身近な情報を広めることで、地域コミュニティを活性化したい」と話します。情報誌の内容をさらに充実させ、地域全体のコミュニケーションを図る道具として活用していきます。